

令和4年度 第2回 前橋市教育情報システム利活用推進委員会 会 議 録

日 時 令和5年2月9日（木） 午前10時00分から

場 所 前橋市役所 11階 南会議室

出席者

No.	役職	氏名	備考 (利活用推進委員会内役職)
1	前橋市教育委員会 教育長	吉 川 真由美	委員長
2	前橋市教育委員会事務局 教育次長	藤 井 一 幸	副委員長
3	〃 指導担当次長	都 所 幸 直	副委員長
4	〃 参事兼総務課長	片 貝 伸 生	委員
5	〃 学校教育課 課長	相 原 吉 次	〃
6	〃 青少年課 課長	内 山 崇	〃
7	前橋市未来創造部 情報政策課 課長	岡 田 寿 史	〃
8	前橋市小学校校長会 会長 (前橋市立わかば小学校 校長)	岩 崎 博 文	〃
9	前橋市中学校校長会 会長 (前橋市立鎌倉中学校 校長)	木 部 悟	〃
10	前橋市公立学校教頭会 会長 (前橋市立新田小学校 教頭)	今 泉 洋 一	〃
11	群馬大学副学長（IT・データサイエンス担当） 兼 群馬大学数理データ科学教育研究センター長	浅 尾 高 行	〃 外部専門家
12	前橋市教育委員会事務局 前橋高等学校 事務長	伊 井 直 文	オブザーバー 欠席
13	〃 総合教育プラザ 館長	金 井 幸 光	〃
14	〃 総合教育プラザ 館長補佐兼教育研修センター所長	吉 野 雄一郎	〃
15	〃 学校教育課 課長補佐兼指導係長	平 澤 英 夫	〃
16	前橋市未来創造部 情報政策課 情報政策係 教育情報ネットワーク担当係長	大 塚 範 之	〃
17	前橋市教育委員会事務局 総務課副参事兼情報教育推進室 室長	古 暮 清 二	庶務 欠席
18	〃 係員	竹 内 三 保	〃
19	〃 係員	上ノ内 栄	〃
20	〃 係員	清 水 亮 介	〃

総務課長

1 開会

教育長

2 挨拶

第1回でいただいたご意見をもとに、第2回の今回は、その進捗に関してご報告をさせていただきます。

今後さらに取り組みを進めるために2点ご検討を頂きたいと思えます。

11月に前橋市において、全国の教育委員の会議がございました。主に東日本の教育委員さんや教育長さんが集まる会議でしたが、その場で前橋の学校でのICTの活用状況、運営方法などについて、発表させていただきました。前橋市の取り組みというのは、もう日本の最先端というものではないと思いますが、大きく評価をいただきました。しっかりとした運営体制、そしてPDCAを繰り返しながら進んで着実な取り組みをしていると、ここを多くの教育委員会から評価をいただいております。本委員会のみなさまのおかげと感謝を申し上げたいと思えます。

現在、第三期の前橋市教育振興基本計画を策定中でございます。この計画は令和5年度から令和10年度までの6年間を計画期間としております。特に社会や教育を取り巻く環境が変化し、コロナウイルス感染症への対応で、さらにその変化というのは加速したなということを実感します。第二期では見られなかったウェルビーイングという言葉も入ってきておりますし、多様化する社会の中で、一人一人が自分に合った学び方や生き方ができること、これまでと異なった方法で他者と繋がること、それによって、互いの幸福感を高めるために教育には何ができるかということ計画に盛り込んでおります。

ICTによる社会の変化は、私たちの想像をはるかに超えております。変化は非常に予測しづらいものでありますが、子供たちには生きる力を支える大事なツールとして、ICTを今後とも活用し、新しい社会を作りたいと思えます。そのように動向を見据えながら、現在どんな状況なのか、どうすればよいのか、足元もしっかりと固めながら、ICTの活用を進めていきたいと思えます。

浅尾先生には、お忙しい中、市役所までお越しいただきまして、久々にリアルの浅尾先生とお話ができるのは大変嬉しく思っております。

委員の皆様には、忌憚のないご意見を賜ればと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

総務課長

本日は外部専門家として群馬大学副学長兼群馬大学数理データ科学教育研究センター長の浅尾高行先生にご出席いただいております。

議会の委員長については、本委員会の設置要綱に基づき、教育長が行います。

情報教育推進
室係員

3 報告事項

(1) GIGAスクール構想の進捗状況について

ア GIGAスクール運営支援センター

イ 学習者用端末の運用状況

ウ タブレット活用アンケート結果

資料1から4を基に説明

浅尾委員

素晴らしいと思えます。データを見ると結構使われているという印象です。いくつかの問題点を指摘いただいたのですが、ドリルという問題もありますが、これはやはり、今のシステムは、あるものをみんなで共有して、教科書の変わりのようなイメージ。環境が学校によって違うと思うが、応用問題など先生方が教材を作れるようなシステムがない。我々のと

	ころでは、先生が自分の教材を作れるようにしているので、是非ご利用いただければと思います。 大学の講義も少しずつ変えている。高校の情報Ⅰに「ジープライムシステム」を使い、先生方が作ったパワーポイントの原稿と発表のテキストをAIを利用し、学生が自分で選んだ内容の学習ができる仕組みです。ぜひご利用いただければと思います。
前橋市小学校 校長会会長	浅尾先生がおっしゃった仕組みは教員が作った応用問題を市全体で共有できるということですか。
浅尾委員	そのとおりです。
前橋市小学校 校長会会長	情報教育推進室でも、そのようなことはやっているのですか？
情報教育推進 室係員	現在、特にそのようなことはやっていません。
前橋市小学校 校長会会長	このグラフを見ると、ドリルパークが簡単すぎるのでしょうか。応用問題を作って市全体で共有できるような仕組みがあれば良いと思いました。 GIGAスクール運営支援センターの支援員さんには、プログラミングの授業の支援に入ってくれたり、校内研修で講師をしてくれたりと、非常に助かっています。欠席連絡のGoogleフォームの導入も非常に助かっています。オンライン支援が少ないという話もありましたが、直接の支援が非常に助かっているのも、あまりオンラインを意識しなくても良いかなと思います。
前橋市中学校 校長会会長	中学生がドリルパークはあまり使わないということがはっきり出ていますが、中学生は忙しいので、例えば問題集は開いてパッと見ればだいたいの問題が分かります。ドリルパークでは、開きながら次はどんな問題なのか分からないので、中学生には馴染まなかったのではと思います。現場としては、基礎基本を学ぶにはドリルパークが良いと思いますが、部活など忙しく、なかなか開く機会を得ないのかなと思います。小学校は授業中でも復習に使えると思いますが、中学校は授業中に使うのは、現場感覚としてはない状況がある。この点は小中学校の違いだなと思って聞いていました。 今年は理科学研究発表会が実施できました。小中学校ともにタブレットを使って子供たちが発表していましたが、その中でも動画で発表できるというのはこれまではなかった発表形態だと思います。写真や模造紙に書いた文字の発表も見ましたが、やはり動画は分かりやすいということで利用が多く、見ていてなるほどと思いました。 フォームの活用がこれから働き方改革を考えた時にニーズが高くなると思います。職員へのアンケートもそうですし、数が膨大になる保護者へのアンケートもフォームで実施しています。スプレッドシートに回答が表示されたものをグラフ化して分析したいと考えているので、その技術支援をしていただける機会があればと思っています。
指導担当次長	理科学研究発表会に私も参加させていただきましたが、中学生が実験の動画を比較させて紹介することを当たり前のようになっているのを見てすごいと思いました。パワーポイントを中学校は昨年から、小学校は今年から使っているという話だったのですが、半分ぐらいの発表はタブレッ

トのパワーポイントを使って、自分の実験についての紹介しており、学校において活用が進んできている表れだと思いました。

ドリルパークが去年の活用が足りなかったということで話題になりましたが、小学校と中学校の違いがあるのだろーうと思いました。小学校は計算、漢字、音読が宿題として定着していますよね。中学校には「これをやる」と決まっていなくて、同じ教材を提供するというところに価値があるという所から、発想転換も必要なのかと思いました。

浅尾先生から、問題をみんなで共有し合っているという話もいただきましたが、昔、教育委員会が主任会の先生方と一緒に「基礎基本確認テスト」を作りました。それを各学校で活用する事に取り組んだのですが、今のようなお話を伺うと、そういう問題も作成して皆さんで共有し合いながら活動していくこともできるのではないかと思います。

オンライン支援とともに、C4thの掲示板の中で先生方が「こういう事で困っています」と書き込むと、他校の先生が解決方法を答えるという仕組みがオンライン支援とともに先生方同士の中での自己解決につながっていて、とても良い雰囲気だと感じています。オンライン支援の数が少ない事は気にせず、現場に直接行って支援するという役目を主体として考えていくのでも良いのではないかと思います。

教育長

私も理科学研究発表会にて今の子供たちはこういう発表なのだと、自分の子供の時などと比べて、あまりに違って驚きました。彼らがここまで使いこなして、研究発表できるのだということを改めて見せていただき驚きました。

ドリルパークの中学生の活用については、様々の課題があるかと思うのですが、これはベネッセにとってもかなり課題のあるところで、「なぜ、ドリルパークが中学生に活用されないのか」ということも検討いただいていると思います。

今、指導担当次長がおっしゃったように、同じ教材を小中学校で使うことが良いのかどうかなど、いろんな視点から検討していく必要があるのと私も考えております。

前橋市公立学校教頭会会長

小学校では、ドリルパークは漢字や計算など、本当にちょっとした隙間の時間でよく使っているのを見かけています。私も授業の中で、子供たちが計算ドリルなどをやっている風景を良く見かけます。そういった意味では、小学校はよく使っていると思います。

A I の技術で個別最適化という話がありましたが、「何ができていて、何ができていないか」というのは、すぐ分かるのだと思うのですが、先生はとても忙しいので、そこまで手が回っていないのが現状です。それらを有効に活用できるとすれば、子供たちの習熟度などを簡単に把握できると思います。なかなかその辺がうまくいっていません。

先生は便利だなと思うとすぐ利用するのですけれど、少し手間がかかることは敬遠してしまうので、「簡単にパッとできる」や「すぐ分かる」、「それが実感できる」というものが良いと思います。それは当然、子供たちについてもそう思います。

子供たちもiPadをよく使っていると思います。児童会でいろんなところで先生にインタビューをしています。中学生がいじめ防止の授業で来校された時も児童会の子たちが中学生にインタビューをして、キャリア教育の一環ということもあり、その内容をテレビ放送で流す取り組みをしています。また、大学生がボランティアで、小学校に来ているのですが、身近な中学生や少し上の先輩たちに「小学校時代どんなことをしたら良いの？」などを動画で撮影し、それを流す活動をしています。子供たちが簡単に使えるのでとても便利だと実感しています。

教育長	動画をうまく使っていくと、私たちが想像もしない使われ方をするのだと思います。また、ICTの活用について、それが目的ではなくて、しっかりと現場に合った、一人一人に合った活用がされていくことが大事だなと感じました。ありがとうございました。
情報教育推進室係員	(2) 各部会の取組状況について ア ICT基盤整備部会 イ 校務支援部会 資料5、6を基に説明
前橋市小学校校長会会長	代表的な事例で、職員室に大型ディスプレイを置いている学校があるとうことですか？
情報教育推進室係員	実際に配置している学校があります。職員室に入ると、今日のスケジュールの記載があり、先生方がどこに出られているというのがひと目で分かるような形になるよう運用されています。この機器は学校独自に準備されたと聞いています。
教育長	このような事例についても情報共有をさせていただければ良いと思いました。ありがとうございました。端末がこれまで整理されてきましたが、市教委としても様々なところで活用してきたかと思います。教育支援教室などでも活用がされていた、または今後されていく、ということはありませんでしょうか？
青少年課長	教育支援教室でも昨年度に学校に中々馴染めない子供たちが学校とは別の3つの施設で授業を受けているのですが、そこにも中々入るのは抵抗がある5人ぐらいの子供たちに対して青少年支援センターの指導主事がタブレットを使って、授業をしたということもありました。そうすると、その部屋に居ることにだんだん体が馴染んできたり、心も落ち着いたりして、その後何度か教育支援教室へ足を運ぶこともできたりしています。また、粕川の「かがやき」に通っている子供が、英語の勉強をどうしても教わりたいというので、支援センターの指導主事がオンラインで教えたということもありました。 私たちは、今後は「繋がる」ということをキーワードにして不登校支援をしていきたいと思っています。繋がることで子どもの内面また背景を正確に理解することもできます。そして、孤立化を防ぐことができるのではないかと考えています。それは教育支援教室で活用していくことも勿論ですが、学校の中で子供たちと繋がるのは、従来は家庭訪問や電話が入り口だったところに、ICTという扉が一つ増えたと考えています。繋がる形で不登校支援を広げていくことと、もう一つは先ほどありましたが、この経験が千差万別な子供たちだからこそ、個別最適な学びが必要になってくるでしょうし、また、非常に経験が少ないために不登校になってしまった子供たちだからこそ、人と繋がる協働的な学びも必要になると思います。これについては学校教育課や教育研修センターと連携してICTを不登校の子供たちに提供できるように青少年課として取り組んでいきたいと考えています。
学校教育課長	ウ 授業支援部会 資料7、8を基に説明

4 検討事項

(1) 情報セキュリティポリシーの改定について
資料9を基に説明

このように規約にすることは大事だと思います。今は普及期であり、これから5年間位は維持していかななくてはならない。セキュリティも大事ですが気になっていることがあります。

それは、Googleに依存しすぎかと思います。Googleは経営がよろしくなく、次に狙っているのは教育かと思います。群大はずっと前からGoogleを使っているが最近ストレージに対して課金されるようになり、もう払えないとなっています。クラウドと海外の企業というのは、非常にやりやすく国も勧めているのですが、アメリカやヨーロッパでは、クラウドは減らし、オンプレに振り替えているところがたくさんあります。それはコストを比べると高くなるため、ストレージがどんどん増えると、その分、皆さんが使うようになり、それに対し、課金が急に上がるようなシステムになっているので、今後おそらく5年ぐらい経つと前橋が払えないなんていう可能性が出てくるかもしれません。

群大ではそれでは困るということで、オンプレで自分のところにサーバーを置いて、特に動画系のコンテンツを配信しています。動画系の配信はストレージが多いので、クラウドに置くと相当の通信料もかかるので。

教育というのは企業にとってはすごく良いお客さんなので、気を付けていただけたら良いと思います。5年後になって課金されてどうしようとなつては間に合わないのでオンプレで共同しながら、作っていくのが大事かと思います。

もう1つ懸念しているところは、教育というのは、子供たちのバックグラウンドがバラバラですので、一辺倒の教育は、オンラインでも中々できないと思います。だから、学校の先生の価値があると思います。そこをうまく生かせるような、例えば、先ほどのような教材を皆さんで共有して、本当に前橋市が必要な教育をできるようなシステムを自分たちで作っていくのが大事なのではないかと思います。教材を買ってくるのではできないところだと思います。先生方がいろんな教材を作ることは大変ですよ。簡単に作れるようなシステムがないという問題のために開発したものですので、ぜひ使っていただきたいと思います。リンクを送りましたので、みなさんで見ただければと思います。

子供たちが学ばなければいけないものを自分で選んでいけるシステムというのは、元々は医学部の主義的なところですが、そこを実習するための自主学習の教材として作ったものなのですが、こういう時代になると、使えると思うので、ぜひ前橋市から使って、自分たちの教材を共有できるシステムを今から使った方が良くと思います。

おそらく全国でも、ベネッセなどの教材を使っていると思いますが、おそらく5年以内に本やドリルと同じで、「使えないね」という話が出てくるのではないかと思います。その時に必要なのは、対面の教育でやっていたものをオンラインでうまく使うような知識教材を作っていくことなので、そこには先生の出番と思っています。今後、5年間かけて、意識しておかないと日本の先はないのではないかと思います。

私たちがまだ気付いていない先のことをご指摘いただきまして、ありがとうございます。先ほど挨拶で申し上げました東日本の教育委員の会議で文科省の方とお会いした時に、私達がGIGAスクールで目指しているものは色々なアプリを入れ込んで使って欲しいというものではないと、児童生徒に配付しているタブレットは、如何様にも使うことができる

のだとシンプルな使い方を是非してほしいというような話がありました。

子供たちと先生方のこれまで積み重ねてきた知識と経験を引き出せるような使い方をしてほしいというようなアドバイスをいただきましたので、私たちもその点に留意しながら、今後活用していきたいと思います。ありがとうございました。

総務課長

(2) 前橋市教育情報システム利活用推進委員会の組織改編について資料10を基に説明

5 意見交換

前橋市小学校
校長会会長

2つ話させていただきます、1つ目は校長室にプリンターが欲しいということです。指導者系からは印刷できるのですが校務系からは印刷できないため指導者系に移してから印刷しないといけないのですが、移いた時にレイアウトがずれてしまうことがあります。そのようなときはどうしているかという、校長室からプリンターのある所へ走っていき、教頭先生がいる時は教頭先生に見てもらいますが、いない時は走って取りに行っています。校長室から近いところにプリンターがある学校は良いのですが、ない学校は大変なので校長室にプリンターをお願いしたいことが1つです。

もう1つは大きい話になりますが、今教員不足と叫ばれていて、これから退職する先生にも何とかお手伝いをいただかなければいけない時代が来ると思います。一概にはいえませんが退職される先生、高齢の先生は、タブレットが苦手な方が多いです。実際、私も先生に欠員が生じた際、直接退職された先生に電話したときに「今はコンピューターなのでしょう？」と断われたことがありました。

そこで、退職された先生でまた教員をお願いしたい人向けにタブレットの基本的な使用法を教えてくれる研修を実施し、授業中ずっと使う必要はなく、ICTが全てではないことを伝えて安心していただけると、教員不足も少し減るのではないかと思います。

前橋市中学校
校長会会長

今日いろいろとお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

印刷については、うちも教頭と朝7時に集まり、ほかの職員がいない時間に人事に関わるプリントアウトを対応したという現状があります。

基盤整備部会と校務支援部会のところでお話があったように分割ネットワークの課題や校務外部系の使い勝手の悪さや認証などの課題があります。顔認証が何度もやり直し、3回ぐらい失敗すると焦りだします。部屋の暗さとか時間帯によってもずいぶん違うので、もっと違う方法があると良いとか、タイムアウトの時間を延長してもらっただけでも解消できると思うので、検討していただいているということなので、大変期待したいと思います。

セキュリティの問題との兼ね合いでこっちを立てればこっちが立たずだと思うのですが、現場としての使い勝手ということでご意見させていただきました。ぜひ検討をお願いしたいと思います。

個別の話なのですが、C4thについては、アンケートの結果では、あまり使っていると書いてはいないのですが、アンケートの時にC4thを使うのが当たり前と思っているから、C4thは現場にはなくてはならないシステムですので、引き続きお願いしたいと思います。ただ、学校連携で他の学校に行っている職員がいますが、行った先の学校でC4thは入れるが校務系には入れないという話を聞いたので、そういうことがあるのならば対応していただけるとありがたいと思います。

今日は大変ありがとうございました。

前橋市公立学
校教頭会会長

今日はありがとうございました。いろんなことが進んできているというのが実感です。働き方改革のところで、学校は保護者からの電話がとて多いのですが、出欠席をフォームで回答できるシステムを学校に導入していただいたため、朝の欠席連絡は激減しました。おかげさまで本当にありがたいと思っています。

チャット機能というのもあり、先生方と教室で、例えば教頭や事務さんが保護者からの連絡を受けると教室まで走って行かなければいけなかったのが、チャット機能を使うと全職員がチャット共有できていますので、職員室から「誰々の欠席連絡が入りました」とか、教室から「誰々の連絡が来ていますか？」などが共有でき、とても便利になったと思います。

先程のいろいろなセキュリティの中で、いろいろなものを導入したいな、使いたいなという職員の要望がたくさんあるのですが、手続きが非常に大変だなと実感しています。ただ、先ほどプリンターの件がありました。子供たちもプリンターが使いたいという要望があり、Wifi 機能を使って印刷ができますというアドバイスを貰ったので、プリンター 1 台を会議室に購入させてもらい、子供たち独自に印刷ができるようになりました。おかげでいろいろな授業の中で、作品などをプリントアウトすることができ、よかったなと思っています。

今、学校の中で一番の課題が校内放送ですが、小学校は大型のディスプレイが導入され、とても見やすくなり良かったです。その代わりにテレビ放送がなくなったので、meet を使っているのですが、音声をなかなか拾わなかったり、ネットワークの関係で画像が途中で途切れたりということがあるので、YouTube のライブ配信にチャレンジしているところです。先ほどのインタビュー等の動画をアップすることができるので、各教室で配信したものを見ることはできます。今度は朝礼などを YouTube のライブ配信でできないかと考えていまして、今、情報政策課に問い合わせさせてもらい、もう少しでできそうなところですよ。

学校では、課題がまだまだたくさんあり、やりたいことはあるができないというのが現状で、そこをどうにか埋めていけるといいなと思っています。ありがとうございました。

指導担当次長

YouTube で朝礼の配信というのはどういうものなのですか？

前橋市公立学
校教頭会会長

まだできてはいないのですが、音声は校内放送を使い映像は meet を使う方法が一番良いと思っています。この間の全校朝礼もその方法でやったのですが YouTube のライブ配信ができると、良い画像と音声で流せるのではないかと考えています。動画まではアップできるようになっています。それは Google Classroom を使ったものですが、それを YouTube で見られるように手続きをしてもらおうことだと思っています。

指導担当次長

校長先生のお話を子供たちが教室で YouTube を見ているということですか。

前橋市公立学
校教頭会会長

画質が良いと思うのですがどうなのですかね

情報教育推進
室係員

ビデオ会議ですと双方向でデータを送り合うので動作が重くなってしまふのだと思います。YouTube では、一方から送るだけに専念できるところがその理由だと思います。

指導担当次長

イメージが湧きました。ありがとうございました。

	出欠席のフォームについては、私たちも非常に学校現場で広がってもらいたいと思っています。ただ、あの教育委員会から「これをやるべき」と強く言って良いものか、どう伝えたら良いのかなど、いつも悩んでいるのですが、確実にやっている学校の話の聞くと、これはとても便利で、しかも負担軽減につながるということでした。こちらとすると教頭先生がおっしゃったようなことを教頭会議の折に「やってみたら、すごく良かった」ということをどんどん伝えていただけると、1校2校3校とその活用が広がっていくと思います。校長会議においてもやっていただいている学校が「どんどん取り入れたほうが良い」という声を上げていただき、様々な会議の折に紹介していただけると活用が広がっていくと思います。どうしても教育委員会から「やるべき」というと、やらされ感が強くなってしまうことを非常に危惧しているところでもあります。そんなところでもお力を借りられたらと思います。ありがとうございました。
教育長	朝の出欠連絡については、その全国の会議で私からも報告をさせていただきました。朝の時間、先生方にとっても有効に使えるし、欠席連絡のいろんな先生方に届くタイミングが早く、必要なところに届くようになったというふうに聞いております。他の教育長さんからもぜひ取り入れてみたいというようにお声もいただいておりますので、教育委員会が学校現場をバックアップできるようにして行きたいなと思っています。 浅尾先生に総括としてお話をいただければと思います。先生にはこれまで2年間にわたりまして、私たちの委員会に様々なご助言をいただきました。ご挨拶と合わせまして総括をお願いできればと思います。
浅尾委員	ありがとうございました。2年間、現場の皆さんのご意見が聞けて、本当に私自身も為になりましたし、我々がやらなくてはいけないことが明らかになったと思います。最初立ち上がったものが今は充実期に入り、これからどうやってそれを発展させるかという時期になっていくので、ぜひ皆様のご活躍に期待したいと考えております。 私ごとでありますけれども、私はこの3月で群馬大学を定年退官になります。後任はセンター長の青木先生にお願いしようと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思っています。青木先生は元々教育学部の理科の先生で、私より現場に近いので良い発言をしていただけるのではないかと思います。2年間どうもありがとうございました。
教育長	大変お世話になりましたが、ぜひこれからも浅尾先生には繋がっていただきまして、私たちのサポートをしていただきたいと思いますし、またご助言をいただければと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。
指導担当次長	タブレットが導入されて2年目が過ぎて、学校現場での活用というのも、本当に少しずつ広がっているのではないかと思います。最近は学校の現場へ中々授業を見に行けないのですけれども、そのように聞いたり、考えていたりしているところです。 最初に導入した時にタブレットは学習を支える道具であるということなので、先生方が「タブレットを使わなければいけない」という思いが強くならないようにしてもらいたいと思います。あくまでも授業の中で、「どんなふうに有効に活用するのが良いか」ということを考えながら、上手に使っていただきたいと思います。これは今後も変わることはないと思います。道具はどんどん変化、進化していると思います。 私が指導主事で行った時にはホワイトボードの活用が広がっていきました。みんなの意見を集約して、そこに書いて黒板に貼って、みんなで共有していました。そのホワイトボードがまだ各学校にたくさん積

まれているのではないかなと。もしくは、今でも授業で活用している先生がいらっしゃるのではないかと思います。そのホワイトボードが今はデジタルに置き換わり、タブレットを使い、みんなで画面に共有していると。そのように道具の進化を先生方、そして子供たちに実感してもらえていけるような、そういった授業になっていけたらと思っているところです。

まだまだ皆さんと、いろいろと情報を共有しながら、そして、どのように活用していったら一番良いのかということはこの会を通して、皆様と意見交換していければと思っておりますので、今後とも引き続きよろしくお願い致します。本日はどうもありがとうございました。

教育次長

委員会で学校の現場の先生の声聞かせていただくと、こちらが気付かないような学校現場での課題というところに本当に気付かされるなど思っております。指導担当次長からも話がありましたように、タブレットが導入されて2年ということで、学校で見させていただいた時は、お子さんが本当に扱うのが速く、マスターするのが大人より速いということを実感いたしました。それに伴って、授業される先生方のご苦労もあるかと思っておりますので、様々な意見を聞かせていただき、教育委員会としても、いろいろなバックアップができればと思っております。

また、新たな形になるかと思うのですが、図書館で来月から電子書籍を運用することになり、今、図書館と総務課で、これから検討していくところなのですが、電子書籍も子供たちに活用していただければありがたいと思っておりますので、どういう形になるかは、来年度にお話をさせていただければと思います。洋書なども電子書籍に入ってきますので、授業に使えるものが出てくるかなと思います。その辺りの話についても次年度になるかと思いますがお話をさせていただければと思います。本日はどうもありがとうございました。

教育長

今、教育次長から話がありましたが、図書館の方でも電子書籍が導入をされます。これは決して、リアルな本がデジタルになったというだけではなくて、読み上げの機能があったり、または多言語化したりと様々な人の学びを支えていくものとして、私たちは導入をしたわけでございます。

誰も取り残さないというその言葉どおり、ICTが多くの方の多くの人の学びを支えていくものになってほしいと思います。あまりに変化が激しすぎて、早すぎてキャッチアップするのが大変なところがございますけれども、専門家の方にもいろいろご助言をいただきながら、これからしっかりと学校現場を教育委員会として支えていきたいと思っております。

岩崎会長さんから教員不足の折、退職をした校長先生のサポートをというお話もございました。これは教育長の会議の中でも議題というか課題として挙げられておりますので、この点につきましても、今後検討をして行きたいと考えております。色々な意見をいただきまして、ありがとうございました。今後に生かしてまいりたいと思っております。

本日予定されておりました議事は全て終了いたしました。

(午前 11 時 50 分)